

2019年度一般社団法人日本生理学会第1回理事会議事録

日 時： 2019年3月28日（木） 10:00～13:30

場 所： 神戸国際会議場 4階 Droom（401+402）

[出席者]

理事長 丸中良典（議長）

理 事 赤羽悟美、伊佐 正、石川義弘、入來篤史、上田陽一、浦野哲盟、岡村康司、尾仲達史、小野克重、尾松万里子、加藤総夫、狩野方伸、久保義弘、黒澤美枝子、蔵田 潔、鯉淵典之、小西真人、小林 誠、小山なつ、齋藤康彦、酒井秀紀、渋谷まさと、鷹野 誠、多久和典子、富永真琴、中島 昭、長峯 隆、中村和弘、鍋倉淳一、林由起子、平野勝也、福田敦夫、八尾 寛、和田 真、渡辺修一、渡辺 賢（計36名）

監 事 内田さえ、松井秀樹

陪席者 北澤 茂、倉智嘉久、佐久間康夫、當瀬規嗣、橋谷 光、花田礼子、飛田秀樹、南沢 享、吉田さちね、吉村由美子

[欠席者]

理 事 柏柳 誠、桑木共之、白尾智明、田中潤也（計4名）

定数41名に対し、37名の理事が出席し、定款により、本理事会は適法に成立した。

I. 報告及び協議事項

1. 理事長挨拶

定刻となり開催する旨宣言された。

2. 庶務報告（丸中理事長）

以下2点について報告された。

- 1) 特別会員の伊藤正男氏（2018/12/18）、島津浩氏（2019/1/21）の弔事が報告され、出席者で黙祷を捧げた。
- 2) 日本生理学会（以後、PSJ）には1月10日時点で2,813名が在会している。

3. 財務報告（石川副理事長）

以下4点について報告がなされた。

- 1) 2018年度決算額では、会費収入、日本生理学雑誌（以後、日生誌）への広告掲載料収入が、経常収益の予算額を上回った。
- 2) ①第95回日本生理学会大会（以後、高松大会）で発行された大会抄録集の費用を高松大会が負担したこと、また②オープンアクセス化を見据えて英文誌”The Journal of Physiological Sciences”（以後、JPS）の冊子体発行を廃止したため、送料が発生しなかったこと、の2点により経常費用が予算額より下回った。
- 3) 松井秀樹監事より2018年度会計監査の実施、および決算書のとおり適正に資産管理が行われている旨報告された。
- 4) 2019年度予算案は本理事会で承認されたため、定款第7章第37条に従い、2019年度定時社員総会に諮る。

II. 審議事項

1. 2018 年度決算について

石川義弘財務担当副理事長より報告があり、承認された。

2. 2019 年度予算案

石川義弘財務担当副理事長より 1) 契約更改年のため JPS 出版代・送料は昨年実績より支出を多めに想定、また 2) FAOPS 会費（2017 年、2018 年分）を計上したために、昨年度より経常支出額が増額されると説明があり、承認された。

3. 次期理事長候補について

次期理事長選出規程条目 II 5 に基づき、決選投票の結果選出された理事長最終候補者の石川義弘副理事長を審議したところ、承認された。2019 年度定時社員総会で報告する。

4. 大会規約について

平成 30 年度第 1 回理事会時に提示された改定案で大筋は承認された。第 4 条の矛盾を解消し、また第 8 条や第 13 条等の細かな箇所を修正したうえで、改めて 2019 年度第 2 回理事会で報告する。

5. 特別幹事について

新たに大会長幹事を設けること、および特別幹事の選出に関する内規に従い、丸中良典理事長が花田礼子会員を特別幹事候補者に指名したところ、いずれも承認された。同内規に従い、2019 年度定時社員総会に諮る。

6. 生命科学教育シェアリンググループとの関係について

special interest group として活動してきた生命科学教育シェアリンググループ（以下グループと略記）が、平成 28 年度第 1 回理事会に法人化の方針を資料で報告したものの、理事会の承認を得ずに今回法人化に至った経緯が、グループ代表理事を務める渋谷まさと理事より説明された。本件については、理事長副理事長会議で継続審議とすることになった。

7. 会員数について

会員数の減少が指摘され、今後の課題とする。例年の大会では「日本生理学会 会員および評議員に関する規約」に基づき、PSJ 会員のみ演題登録および発表ができ、そのため入会者数も一定数見込めた。しかし、神戸大会は国際大会（FAOPS2019）との合同大会であり、参加者を増やすために非会員でも演題登録できる。退会者数が例年並であることに対して入会者数が少ないことが、減少の一つの要因として推測される。

以上